

刈谷市日本語支援団体連絡協議会について

1 設立の経緯

刈谷市内において、刈谷市国際交流協会親善ボランティアである日本語支援グループやSSS、愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルームの3団体が日本語支援を実施しているが、お互いの課題や現状が見えにくい状態であったため、各団体同士の情報共有や連携を求める要望があり、本会議が設立された。

2 会議の目的

刈谷市内で活動する日本語支援団体における課題解決を目的とし、刈谷市と各日本語支援団体の情報共有やつながりを設ける場とする。

3 会議の参加者

活動団体

- ・ 刈谷市国際交流協会親善ボランティア日本語支援グループ
- ・ SSS（スリーエス）
- ・ 愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム

事務局

- ・ 刈谷市市民協働課
- ・ 刈谷市教育委員会学校教育課（令和3年度～）
- ・ 刈谷市国際交流協会

4 開催実績

平成30年度

日時	議題
2月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本協議会の設立趣旨 ・ 各団体の活動紹介 ・ 各団体の課題共有

平成31年度

日時	議題
8月18日／3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動報告・課題に対する取り組みの検討

令和2年度

日時	議題
10月3日	・活動状況報告 ・オンライン日本語教室の視察について
2月14日	・活動状況報告 ・大府市国際交流協会日本語教室の視察

令和3年度

日時	議題
9月12日／2月20日	・状況報告・課題解決に向けた検討

5 成果

各日本語支援団体が集まり、活動内容や課題について情報共有したことで、それぞれの状況をお互いに理解することができた。また、今後は必要に応じ各団体が直接連携し、日本語支援ができる関係が構築できた。

6 結論

一定の成果が得られたことや、本協議会で議論された各団体の喫緊の課題については、個別に検討すべき内容であることから、本協議会を令和4年度で終了する。